

# 自主防災組織だより

No.H23-1号  
多摩市役所 平成23年7月  
〒206-8666  
発行 総務部防災安全課  
☎042-338-6802

## 新しい仲間が増えました！

平成23年度は、新たに1つの自主防災組織が結成され、合計160組織となりました。(7月現在)

自主防災組織 No.161 オーベル多摩永山エンブレムヒルズ自主防災会(諏訪1丁目)

☆近隣の自主防災組織は、互いに協力・連携して防災意識を高めましょう！☆

## 平成22年度「合同訓練」補助金利用状況

2つ以上の自主防災組織が合同で行う防災訓練に対して、その訓練経費の一部として、5万円を限度に多摩市が助成しています。平成22年度は、下記の6団体が利用しました。

23年度もすでに3団体(7月現在)からの申請がありました。

大規模災害の発生時には、周辺地域等、広範囲で被害発生が想定されます。その際には、身近な地域での防災活動のほか、近隣の自主防災組織間と連携し、普段から災害時に相互に協力し合える態勢を築くことが必要となります。

補助金利用に関しては、事前に防災安全課までお問い合わせください。



聖ヶ丘中学校周辺合同訓練の様子

実施日	名称	自主防災組織名	訓練内容	助成金内訳	場所・参加人数
8/21	永山5丁目防災・夏祭り	タウンハウス永山5 防災対策委員会 外4組織	炊き出し、初期消火、発電機操作等	訓練用備品等	永山第4公園・500人
9/5	鶴牧・南野合同防災訓練	鶴牧5丁目南町会防災対策委員会 外3組織	炊き出し、救助、放水、災害関係講演等	炊き出し材料、訓練用備品等	鶴牧第1公園、南鶴牧小・210人
10/30	桜ヶ丘連合会上級救命訓練	桜ヶ丘三丁目自治会 みどり会防災対策委員会 外4組織	上級救命講習会	上級救命教材費	多摩消防署・15人
10/30	聖ヶ丘・連光寺地区合同防災訓練	東部団地自治会防災委員会 外7組織	炊き出し、救出救助、応急救護、初期消火等	炊き出し材料、訓練用資器材・備品等	聖ヶ丘小学校・517人
12/5	聖ヶ丘中学校周辺地区合同防災訓練	聖ヶ丘一丁目アパート自治会自主防災本部 外4組織	炊き出し、地震体験、AED、簡易トイレ組立等	炊き出し材料、訓練用備品等	聖ヶ丘中学校・212人
2/27	連光寺地区合同防災訓練	連光寺本村自治会自主防災委員会 外2組織	避難、通報、初期消火、AED、炊き出し等	炊き出し材料、訓練用資器材等	連光寺本村集会所・69人

## わが家の地震に対する備えを確認しましょう

近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約3割から5割が家具類の転倒・落下物によるものでした。平成23年3月11日に発生した東日本大震災においても、東京都内で家具類の転倒・落下によりけがをした事例がありました。

震度5強以上の強い地震では、テレビ、電子レンジなどの家電製品が落下したり、本棚やタンス、食器棚などの大きな家具が倒れることがあります。

家具類の転倒・落下は直接下敷きになるほか、転倒や落下をした家具類につまずいて転んだり、割れたガラスや食器などでけがや、コンロの上部のものが落下したり、家具がストーブに転倒して出火するなどの二次的な被害も引き起こします。

特に、背の高い家具(食器棚、タンス、本棚など)及び台の上に置く家電製品(テレビ、電子レンジなど)が、多く転倒・落下をしています。負傷の防止や避難路の確保のためには、家具類の転倒・落下防止対策を実施することが重要です。



### 東日本大震災における東京都内で発生した事例

地震により本棚が倒れ、落下した雑誌により電気ストーブのスイッチが入り、接触した雑誌に着火した事例がありました。



地震発生後、倒れてきた冷蔵庫とテレビに下半身を挟まれ約2時間身動きがとれなくなった事例がありました。



デスクワーク中に地震が起こり、室内のスチールロッカーが倒れてきて負傷した事例がありました。

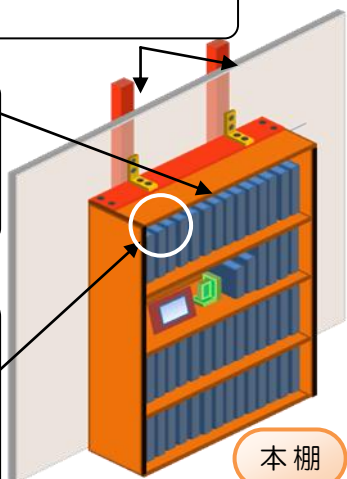


### 【転倒・落下防止対策実施例】

間柱は、壁裏センサーやプッシュピンで探すことができます。

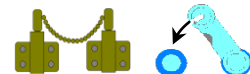
家具の天板に強度がない場合は、家具幅全体に板を取り付けてから、金具を取り付けます。

L型金具等を壁に直接取付ける場合は、壁の強度のある部分(石膏ボード壁裏の間柱等)にネジで固定します。



ガラス扉には、飛散防止フィルムを貼ります。

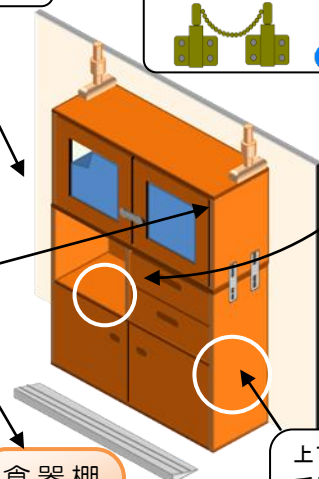
扉は開かないように、とめ具をつけます。



ポール式を使用する場合は、ストッパー式や粘着マット式を併用すると効果が高くなります。

食器棚

上下に分かれている家具は平型金具で連結します。



東京消防庁では、地震時の負傷者を減らすため、現在、家具類の転倒・落下防止対策を推進し、各ご家庭や事務所の安心と安全の向上を呼びかけています。

問合せ先

多摩消防署 警防課 防災安全係  
多摩市諏訪1丁目69番地  
電話 042-375-0119



## 自主防災組織の役割は？

自主防災組織とは、住民一人ひとりが「自らの命は自ら守る」そして、「自らの地域は自ら守る」という考えにたって、自主的に防災活動を行う組織です。

大災害が発生したとき、警察・消防・市役所などの公的機関は、総力をあげ防災活動に取り組みますが、大きな災害になるほど、多種多様な被害により、防災関係機関だけの活動は十分に出来ないと思定されます。

そこで、隣近所の人たちが集まり、お互いに協力しながら、初期の防災活動に取り組むことは大変重要であり、また効率的でもあり、大きな力を生み出します。

### 平常時の活動

資器材整備・管理  
地区の危険箇所把握  
防災訓練  
情報誌発行  
災害時要援護者対策 等



### 災害時の活動

情報収集・伝達  
初期消火  
避難誘導  
救出救助  
避難所設営・運営 等

※防災訓練に関することや自主防災組織の活動などについては、防災安全課までお問合せください。

## 東日本大震災への多摩市の取り組み

3月11日午後2時46分 東北地方太平洋沖地震が発生し、多摩市でも最大震度5弱を記録しました。皆様のご記憶にもございますように、東京都内を始め、東北地方3県を中心に地震・津波による甚大な被害に見舞われました。これらの災害に対し、多摩市の主な取り組みを紹介いたします。

-多摩市内での取り組み-

1. 帰宅困難者対策
2. 職員ボランティアによる義援金募集
3. 市民の皆様から、支援物資募集
4. 被災者の受け入れ



←帰宅困難者受入



←義援金募集

↓支援物資募集

-被災地への取り組み-

5. 被災地へ救援物資搬送
6. 被災地への職員派遣



←救援物資搬送



←職員派遣

今後も、息の長い被災者・被災地の支援が実施できるよう、全力を挙げ、取り組んでいきます。

詳しい活動内容は、公式HPをご覧ください。





# 平成22年度「借上げバス助成」利用状況

自主防災組織の育成・活動の活性化等のために、多摩市が民間バスを借り上げ、自主防災組織へ提供しています。主に、東京消防庁防災教育センター等に見学に行き、訓練を実施することができます。(事前に施設予約が必要です。)平成22年度は、下記の9団体が利用しました。

23年度もすでに3団体(7月現在)が利用しています。事前に防災安全課までお問い合わせください。

実施日	自主防災組織名	目的地	参加人数	備考
4/4	諏訪五丁目自治会防災対策委員会	立川防災館	23人	中型バス
6/12	豊ヶ丘5-1防災対策委員会	〃	29人	〃
7/24	百草団地自治会自主防災組織	〃	20人	小型バス
7/25	愛宕第一住宅自主防災会	〃	25人	〃
10/20	一ノ宮防災対策委員会	〃	23人	〃
11/7	永山五丁目自治会防災対策委員会	〃	20人	〃
1/22	愛宕団地自治会第4ブロック自主防	本所防災館	34人	中型バス
2/11	永山団地自治会 4-4 街区北防災委員会	立川防災館	17人	〃
2/27	永山ハイツ自主防災会	〃	49人	大型バス

## 防災情報を配信しています！

緊急連絡



市で把握した気象情報、水防情報及び地震情報などの防災情報をメールで配信しています。配信時間帯は、原則として市役所が開庁している時間帯です。(緊急の場合は、随時配信の予定) 配信を希望する方は、公式モバイルサイトのメール配信サービスから登録をしてください。

公式モバイルサイトはこちら→ (<http://mobile.city.tama.tokyo.jp/>) QRコード→



※なお、情報提供料は無料ですが、受信料及びメールを利用する環境、接続などに関する費用は自己負担となります。

## 炊き出し訓練をしませんか？アルファ米・乾パンを提供しています！

自主防災組織等の団体の炊き出し訓練用に、アルファ米・乾パン(残り賞味期限は1年未満)を23年度も提供しています。

一度経験をしておけば、「いざ！その時」あわてなくて済みます。

※アルファ米(1箱50食)・乾パン(1箱128食・64食入り缶×2)の提供は、炊き出し訓練が対象です。備蓄用には提供できませんので、ご了承ください。

